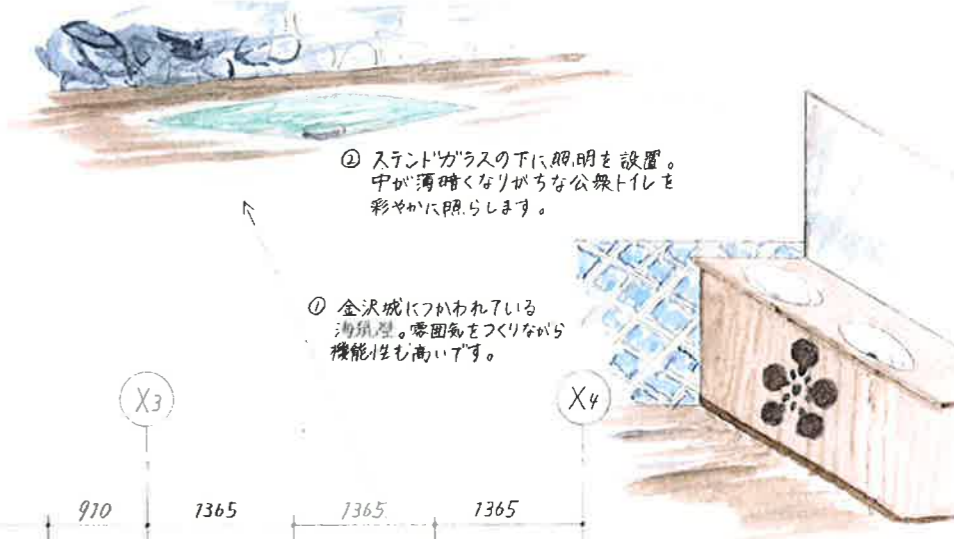


コンセプト

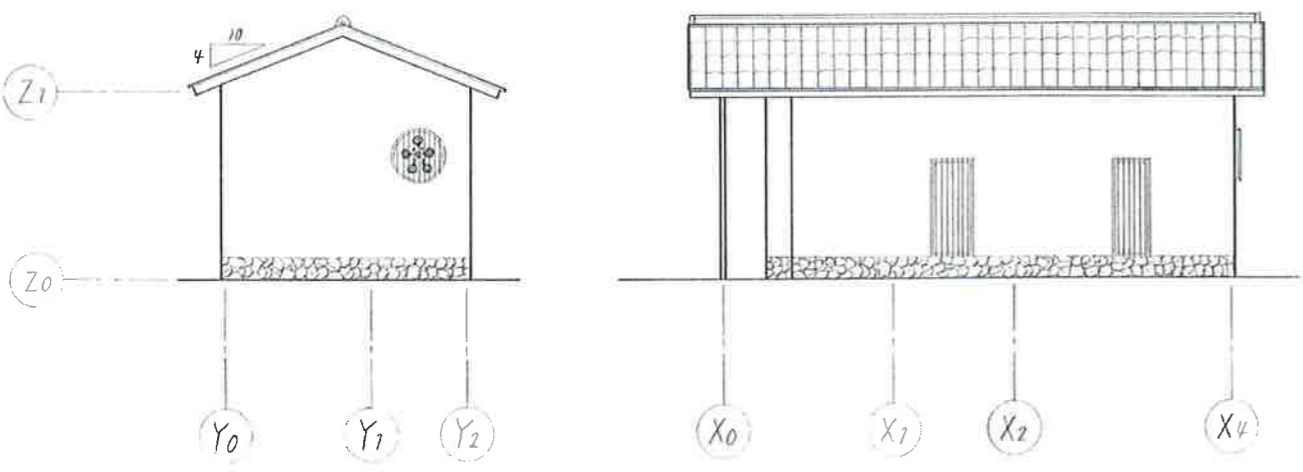
小京都とよばれる金沢。しかし、公衆衆が作りあげた、公衆文化の京都と前田家が作りあげた、武家文化の金沢では中身が全く異なります。
この公衆トイレは、前田家を設計の題材とし、トイレを利用する方に金沢、並びに石川の本質に触れ、好きになって頂けるようになっています。

- ・洗面所・腰壁…海鼠壁(金沢城)の防水効果
- ・洗面容器…丸谷焼(伝統工芸)
- ・トイレ全体・内壁…珪藻土(伝統工芸) 防消効果, 自浄効果
- ・床…スライトガラス(尾山神社)
- ・ベンチ…朱色(尾崎神社)
- ・柵…檜細工の格子(伝統工芸) 視線遮断, 通風
- ・開口部格子…前田家紋



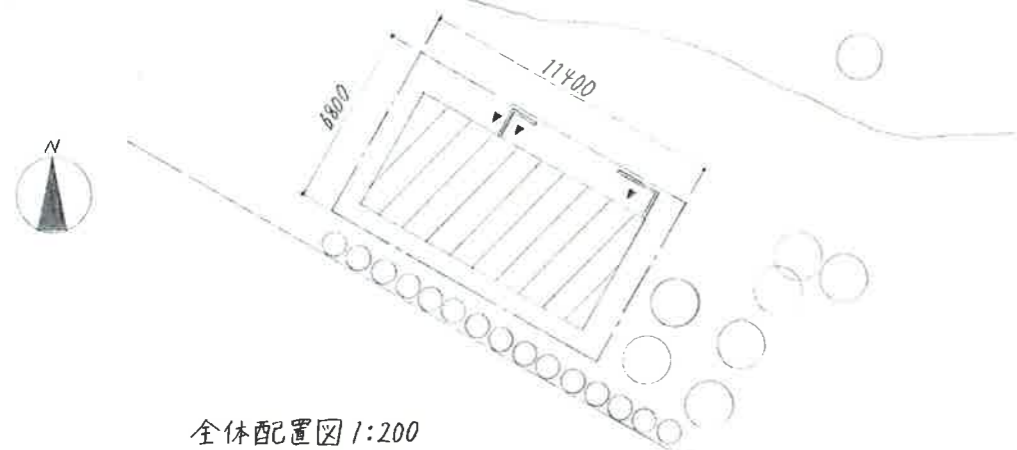
② スライドガラスの下に照明を設置。中が薄暗くなりながら公衆トイレを彩やかに照らします。

① 金沢城に付かれられている海鼠壁。霰雨をふくりながら機能性も高いです。



立面図 1:100

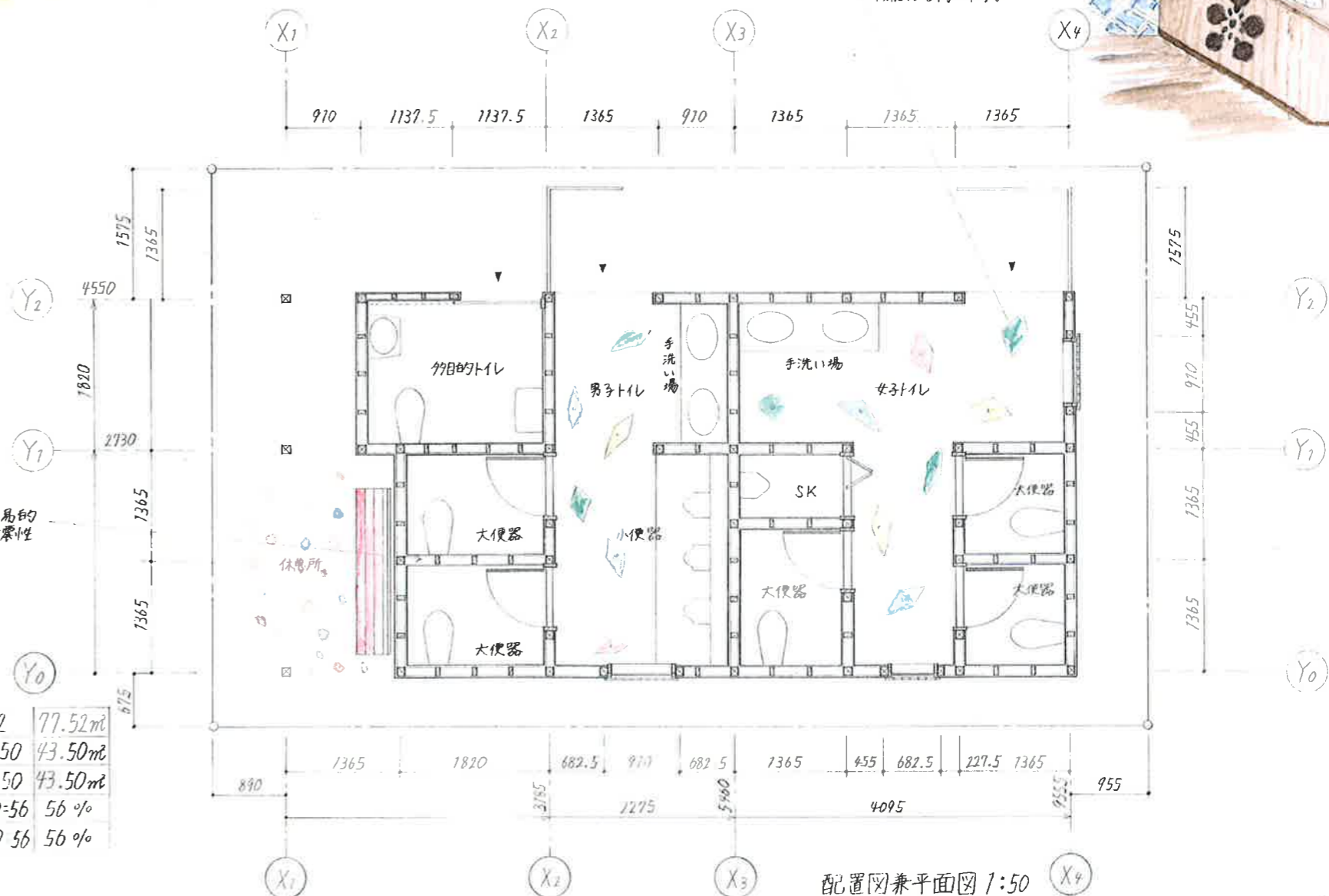
第4回建築デザインアワード
長町緑地に建設する公衆トイレ



全体配置図 1:200

トイレの個室を仕切る壁は簡易的な間仕切り壁と使わないこと耐震性を上げました。

敷地面積	6.8 × 1.4 = 77.52	77.52㎡
建築面積	4.55 × 9.56 = 43.50	43.50㎡
延べ面積	4.55 × 9.56 = 43.50	43.50㎡
建ぺい率	43.50 ÷ 77.52 × 100 = 56	56%
容積率	43.50 ÷ 77.52 × 100 = 56	56%



配置図兼平面図 1:50